

The background of the slide is decorated with various geometric shapes in shades of blue, purple, and teal. These shapes include squares, circles, triangles, and abstract patterns, some of which are arranged to form larger, more complex shapes like a penguin in the top right corner.

# ***Be the First Penguin!***

クライアントへ"新たなコンテキスト"を提案せよ

## チーム A

 *Digital Garage*



# | アジェンダ

- 開発経緯
- 要件定義
- 概要
- 設計
- デモ
- まとめ

## 開発経緯

販売単価の向上や競合他社との差別化強化を営業・企画チームで  
検討



競合との差別化を図るために、他にはないであろう分類、分析ができるダッシュ  
ボード



## ｜アプリ事業者の課題

アプリ事業者が利益を最大化するために、「誰に」「どのような施策」を打てば課金額が増えるのかが明確でない。

ユーザーの課金傾向や離脱兆候を把握し、ターゲットごとの適切な打ち手を導く仕組みが求められている。

## | 着目したニーズ

**ユーザーを「ヘビーユーザー」と「ライトユーザー」に分類し、その割合や推移を把握したい**

→ キャンペーンや施策の効果検証に活用したい

**課金が減少した顧客・離脱リスクのある顧客を特定したい**

→ 最終課金日からの経過日数に応じて、離脱リスクを可視化し、早期アプローチに繋げたい



## 概要

# ユーザー分類別の傾向を探ることができるツール

超ヘビーユーザー

月に2000円以上  
の課金

ヘビーユーザー

月に1000円~2000円  
の課金

ライトユーザー

月に500円~1000円  
の課金

超ライトユーザー

月に500円以下  
の課金

# 要件定義

No.	機能	補足	優先度
1	ユーザー分類別の推移と分布表示	人数の推移と分布を示す折れ線グラフ・棒グラフ	高
2	ユーザー分類別課金額の変化	課金額の推移と分布を示す折れ線グラフ・円グラフ	高
3	最終課金日からの期間割合	円グラフで表示	高
4	月別課金額・額別で絞るUI	月別課金額・ユーザー別課金額の検索をするため	高
5	AIのアドバイス	グラフをふまえてのAIからのレポートを表示	中



## 役割分担

デプロイ 3日間(ほぼ2日)

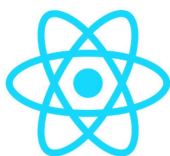


# 技術スタック

▲ Vercel

フロントエンド

NEXT.js



React

ngrok

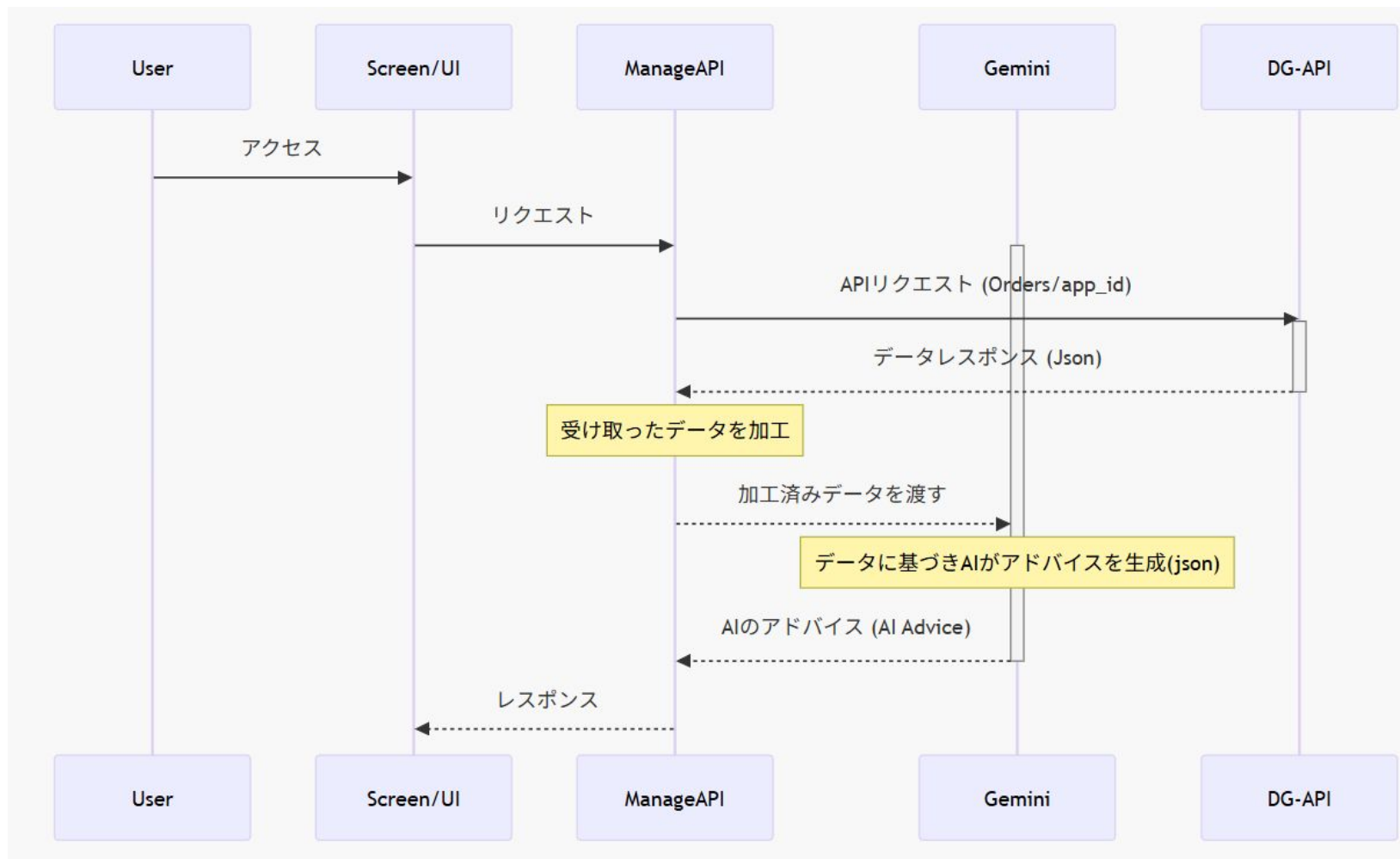
バックエンド



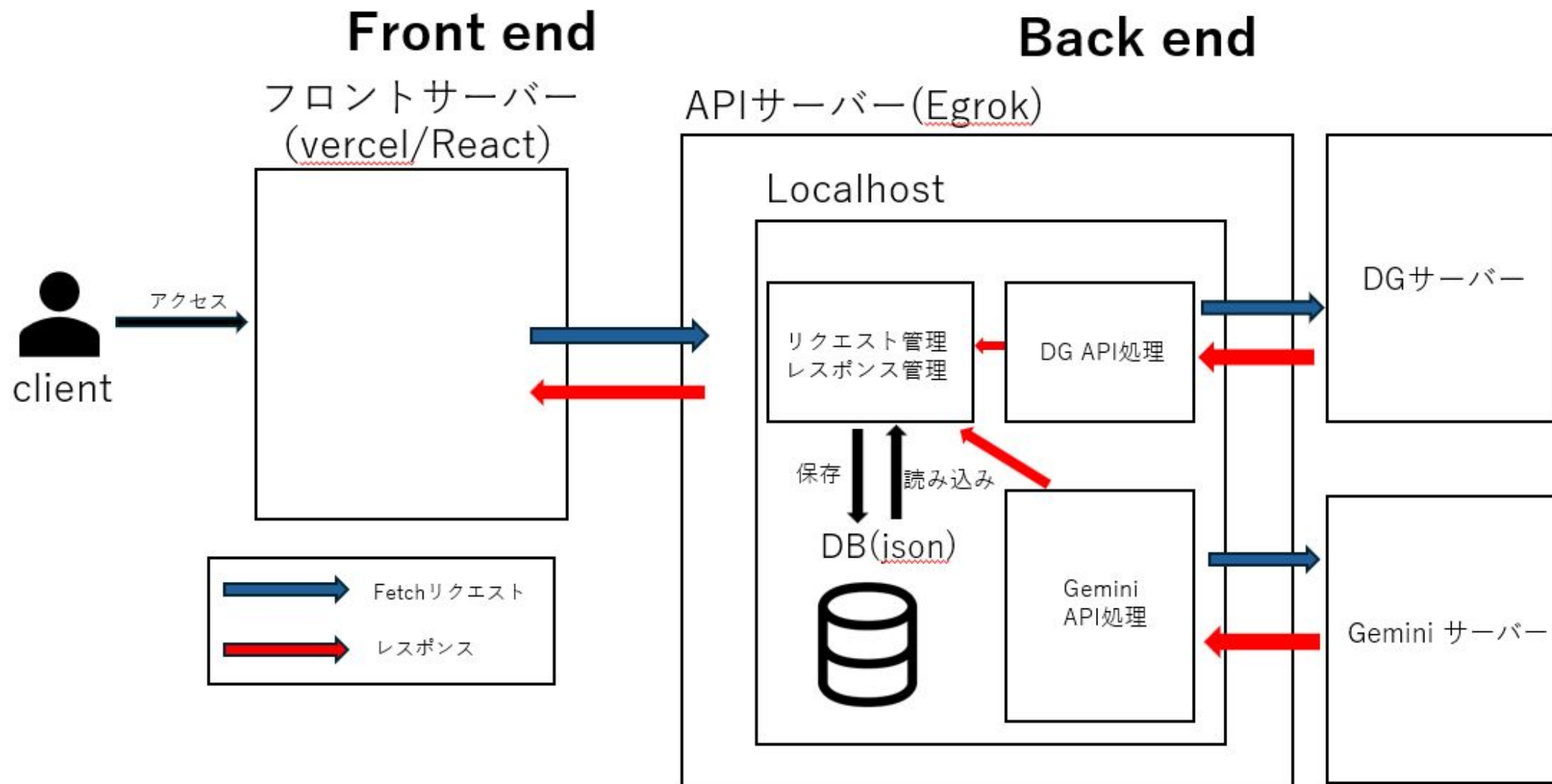
Gemini

開発環境 : Cursor ,Copilot,Github

# シーケンス図



# | アーキテクチャ図





デモ